

学生相談室から

さまざまな学生が増えてきて、どうしたらよいかわからないという先生方からの声を聞くことがあります。

それらの声に対して、参考にしていただきたいことは、本学には、「学生相談室」があるということです。

「学生相談室」といっても、学生の相談だけを受けているわけではありません。教員や職員も利用できます。学生相談室のカウンセラーの方々が、どうすればいいか先生方と一緒に考えてくださいます。

今年度のニュースレターは、そんな「学生相談室」のカウンセラーのみなさまからご寄稿いただきます。

学生相談室のスタッフを知っていただくとともに、「学生相談室」のことも知っていただき、身近なものとして利用していただければ、と思います。

初回は、カウンセラーの眞田知子さんです。

「君は要領よくやるようにしなさいよ」

大学の卒業式のときに、ゼミの先生が最後にかけてくれたことばです。先生のことばは、いまわたしにとってなかなか耳の痛いことばですが、今さらながら、先生はわたしのことをよくわかってくださったとつくづく感じます。



先生はいつも背筋が伸びていて、凛とした人でした。厳しい姿勢をいつも持っていましたが、どこかユーモアがあって講義の話はなにかひきつけられるところがありました。

ゼミの時間も同じで、先生の存在があるだけで何か緊張感がただよのですが、それでいて先生が言われることばでその場がほぐされることもありました。

大学時代、自分自身は大人しい学生でした。ゼミにいても周りのゼミ生は明るくて、社交的でかしく見えました。わたしは話もあまりうまくなかったので、慣れていない学生と話をする場面になると、とても緊張していた自分を思い出します。ましてや先生や先輩の院生に話をしなくてはならないときは、顔がこわばって、なかなかうまく会話できませんでした。ゼミの先生は美人な学生、社交的で元気な学生が好きなように思えたので、大人しくて地味な自分あまり先生に近寄っていくこともありませんでした。

そんな折に、今でもとても印象に残っていることがありました。

学生時代に一度ひとりで外国に行ってみたいと思っていたわたしは、夏休みにひとりで語学研修をかねて旅行をすることにしました。

どういう流れかは覚えていませんが、先生はそのことをお知りになり、非常に心配して、実家の親に連絡されて「自分の知り合いがいるから、何かあったら連絡するように。」とおっしゃってくださったそうです。

わたしは先生の計らいそのものよりも、先生とほとんどじっくり話したこともなかった自分に対してそこまで心配してくれた先生に驚きました。両親でさえそこまで心配していませんでした。

旅行は無事に終わりましたが、先生は「女の子がひとりで海外に行くなんてびっくりしたよ。」と、その後もわたしの顔をみるたびにおっしゃいました。

その後もわたしは、やっぱり先生にとっては話がはずまない、大人しい学生だったように思います。

卒論の時も、ゼミ生の中で一番最後になるまで時間がかかっていました。提出期限の前日に研究室に泊まり込み、締切時間ぎりぎりに、助手さんにつきそわれて卒論を提出しに行きました。卒論に手をつけはじめたのは遅くはなかったのに、どうしてあんなにぎりぎりまでかかったのか、自分ながら自分の要領の悪さにあきれました。

卒業式のときに、先生がかけてくれたことばは、やっぱり一番的をえたことばでした。

自分をうまく人に伝えられない要領の悪さ、物事を段取りよくできない要領の悪さ、先生はそれをすごくよくわかっていたようです。

卒業後もどういうわけか、その先生とはつながりが途切れませんでした。

卒業してから、進路を変更するときに、先生と話す機会がありました。やっぱりうまく先生に話をできた気がしませんでした。

でも何か先生と話がしたかったのだと思います。その後も何度となく先生とお会いする機会がありました。会うたびに先生はこちらが成長してきていることをフィードバックしてくれました。

そして出会ってから20年以上たった最近も先生とお会いする機会がありました。そして、最近になってやっと普通に先生と話ができるようになりました。

先生は、今は学問のことではなく私の生き方についていろいろと、師としてアドバイスをして下さいます。

この人はどこまでも面倒見がよく、そして「要領の悪い」学生を忍耐強く育ててくれたのだと、最近になって感じます。

学生相談室で毎日学生と話をしているとよく思うことがあります。

目の前の多くの学生が「不器用」で「要領のわるい」人間だということです。みんななかなか自分のことをうまく伝えることができませんし、なかなか自分が思ったように進んでいくことができません。流れになかなかうまくのれていません。

学生の話の内容は様々ですが、ある面ではどこか昔の自分を見ているような気がしてなりません。

心理療法のあるやりかたのなかで「してもらったことをして返す」という考えがあります。

ふと、自分自身が、先生にしてもらったことを目の前の学生に返しているように感じます。先生はできのわるい自分をいつまでも見捨てず見守ってくれているので、わたしも目の前の不器用な学生を見捨てず見守っていこうと思っています。

学生相談室は、学生のみならず先生方のご利用もお待ちしております。さまざまな学生が増えてきて、先生方もどうしたらよいかわからない場面が増えてきているのではないかと思います。先生と一緒に考えさせていただき、学生にとって一番よい方向を一緒にみつけていけたらと思います。

KAC・KPC両キャンパスに相談室がありますので、ご都合のよい相談室を利用いただければ幸いです。

KAC 学生相談室

場 所：大学会館1F 医務室隣
電 話：078 - 974 - 5470 (直通)
メール：cproom@j.kobegakuin.ac.jp

KPC 学生相談室

場 所：C号館1F 医務室隣
電 話：078 - 974 - 4639 (直通)
メール：cproom@j.kobegakuin.ac.jp

新採用教員対象のガイダンスを実施しました

2012年度が始まってから3か月が過ぎ、新入生も大学に慣れてきたように感じます。

4月に新しく本学にお越しになられた先生、あるいは新しい授業科目を担当されることになった先生、中には授業の内容を一新なさった先生もいらっしゃるかと思います。

みなさま、それぞれ新たな気持ちでスタートされ、教室も落ち着いてきましたでしょうか。

4月の初めに、新しく本学にお越しになられた教員方を対象にガイダンスを実施いたしました。

2010年度より、辞令交付式の午後を利用してキャンパスツアーを実施しておりましたが、今年度からはもう1日いただき、大学の歴史や教務事項について、事務手続きなどについてご説明し、先生方が本学での教育・研究などの諸活動を円滑にスタートしていただくことを目指して実施いたしました。

日程と内容は下記のとおりです。

4月2日(月)

12:20～13:30 昼食および懇談会

13:30～17:00 キャンパスツアー
(KAC、KPC)

4月5日(木): KAC、6日(金): KPC

*同じ内容を両キャンパスで実施

10:00～11:30 法人の歴史、本学の組織、運営、教育理念など

11:30～13:00 昼食・休憩

13:00～14:20 教務事項について

14:30～15:20 事務手続きについて

15:30～16:00 ハラスメントについて

16:00～16:20 まとめ

昼食会には19名ご参加いただき、教育開発センター内で岡本副学長を交えて和やかに懇談していただきました。その後のキャンパスツアーは、あいにく人文学部の先生方には学部のガイダンスと重なりましたのでご参加いただけませんでしたが、残り14名の方にご参加いただきました。

有瀬キャンパスからスタートし、高等学校のバスを利用し車中から林山キャンパス、長田キャンパスも見ながら、ポートアイランドキャンパスにも参りました。広いキャン

パスをあちろちろと回り、良い運動にもなりましたが、「実際に現地に行くことができて良かった。」との感想をいただきました。

5日(木)の有瀬キャンパスでのガイダンスは教育開発センター内で行い、9名の教員にご参加いただきました。6日(金)のポートアイランドキャンパスでのガイダンスは、A号館4Fの第2中会議室で実施し、11名の教員にご参加いただきました。

それぞれ1日いただき、岡本副学長や古田教務センター所長、ハラスメント専門相談員の三島さんから、担当する内容における本学の現状や方針などをご説明いただきました。

体調不良等で両日ともにご参加いただけなかった2名の先生には、別途ご説明いたしました。

ご参加いただきました先生方には、後日アンケートにご回答をいただきました。

ガイダンスの実施については、先生方からおおむね好評なお返事をいただきました。1日で何もかもご説明する詰め込み型のガイダンスでしたが、それでも、「大学の全体像がつかめて良かった。」「最初に事務手続きの説明をしていただき助かりました。」「初めての職場での活動を安心してスタートすることができました。」など嬉しいご感想をいただきました。

ただ、調達請求書の入力仕方など、スライドを見ていただきながらの説明でしたので、「実際にPCを使用しながらの研修であれば良かった。」とのご意見もありました。ご説明の内容についても、別の内容についてのご要望をいただきました。

これらのご意見・ご感想を参考にして、来年度のガイダンスに向けて検討したいと思っております。



2011年度FD活動報告一覧

■ 教育開発センター

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年4月1日(金)	新任教員キャンパスツアー	新採用教員を対象としてキャンパス(KAC、KPC)ツアーを実施	教員(8名)
2011年4月27日(水)	FD出張	高等教育活性化シリーズ184:学修の質保証に向けた検証と進化 テーマ:「学士課程教育部会教育開発センターの改革シナリオと教 学運営 ~北海道大学の15年余の取り組みを踏まえて~」 講 師:安藤 厚氏(北海道大学 名誉教授)	教員(1名) 職員(1名)
2011年6月15日(水)	FD出張	16th New Education Expo 2011 大阪 就業力、語学教育、アクティブラーニング	職員(1名)
2011年6月24日(金)	新任教職員とFD部会委員との懇談会	新採用教員・職員を対象とし、4つのグループに分かれ、自由 に懇談 最後にグループごとに話合った内容を簡単に紹介	教員(9名) 職員(17名) FD部会委員(10名)
2011年7月1日(金) 7月27日(水)	前期授業改善アンケート	全学部、学際教育機構、共通教育機構において実施 対象科目 1,590科目、実施科目 1,394科目、 実施率 87.7%	
2011年7月7日(水)	FD出張	テーマ:「大学における教育~教養とキャリア」 講 師:内田 樹氏(神戸女学院大学 名誉教授)	職員(1名)
2011年7月22日(金)	FDセミナー	テーマ:「学士課程教育の一貫性構築の方策 -ディプロマ・ ポリシー、科目の到着目標、成績評価、学習成果の 測定に絡んで-」 講 師:沖 裕貴氏(立命館大学 教授)	教員22名 職員7名 KAC(20名) KPC(9名)
2011年7月	「学生による授業改善アンケート」調査 報告書発行	2010年度後期調査(第22回)	
2011年9月3日(土)	FD出張	近畿地区大学教育研究会 テーマ:「原点に立ち返っての教養教育」 基調講演 講 師:竹内 洋氏(関西大学健康学部長) パネル討論 パネラー:松本 美奈氏(読売新聞記者)、 茂木 義三郎氏(三菱財団)、 池田 輝政氏(名城大学学校づくり研究科教授)	教員(1名) 職員(1名)
2011年9月16日(金)	FD出張	大学コンソーシアムひょうご神戸第6回FD・SDセミナー テーマ:「グローバル化する世界における大学の役割」	教員(2名)
2011年9月30日(金)	FDニュースレター(2011 no.1)発行	1,100部発行(全教員、事務部署)	
2011年12月1日(水)	FDニュースレター(2011 no.2)発行	1,100部発行(全教員、事務部署)	
2011年12月9日(金)	学生とFD部会委員との懇談会	テーマ:「定期試験について、授業中の私語について」	学生(21名) 教員(1名) FD部会委員(9名)
2011年12月12日(水) 2012年1月23日(水)	後期授業改善アンケート	全学部、学際教育機構、共通教育機構において実施 対象科目 1,559科目、実施科目 1,356科目、 実施率 87.0%	
2012年1月	「学生による授業改善アンケート」調査 報告書発行	2011(平成23)年度前期調査(第23回)	
2012年2月21日(水)	FDワークショップ	テーマ:「高等教育の内部質保証システムの構築」及び「ルー ブリック評価の実践」 講師・ファシリテーター:沖 裕貴氏(立命館大学 教授) コメンテーター・ファシリテーター:井上 史子氏(帝京大学 准教授)	学長、副学長ほか 教員(31名) 事務局長、FD部会 委員(11名)
2012年3月16日(金)	FDニュースレター(2011 no.3)発行	1,100部発行(全教員、事務部署ほか)	
2012年3月16日(金)	教育開発センタージャーナル第3号発行	600部発行(専任教員、執筆者ほか)	
2012年3月16日(金)	「大学生活入門2012」作成	3,000冊(全学部新入生、初年次教育ゼミ担当教員ほか)	
2012年3月16日(金)	大学生活入門補助教材DVD 「道標-これからの百年に向けて」作成	370枚(全教員、事務部署ほか)	

■ 法学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年10月18日(水)	学生との懇談会		学生(6名) 教員(9名)
2012年1月12日(水)	FD関係参考図書配付	「インストラクションスキル」 赤堀 勝彦著、保険毎日新聞社発行	教員(37名)
2012年1月24日(水)	FD講演会	テーマ:「インストラクションスキル -眠くさせない講義・ 講演のすすめ方-」 講 師:赤堀 勝彦(法学部 教授)	教員(32名)

■ 経済学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年6月7日(水)	学部留学生との懇談会	入学後現在までに感じたこと、授業や学生生活についての意 見、要望を聞く	留学生(12名) 教員(5名)

■ 経営学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年5月20日(金)	留学生との懇談会	授業、学習、その他学生生活全般についての意見、要望を聞く	留学生(5名) 教員(5名)
2011年10月21日(金)	学部2年次生との懇談会	教育環境改善のための意見、要望を聞く	学生(15名) 教員(4名)
2011年11月30日(水)	学部3・4年次生との懇談会	教育環境改善のための意見、要望を聞く	学生(13名) 教員(5名)
2011年12月21日(水)	FD講演会	テーマ:「授業と学生指導における改善策を考える」 講 師: 亀井 明子氏(スクール・セクシャル・ハラスメント 防止全国ネットワーク代表)	教員(23名)

■ 人文学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年9月7日(水)	FD講演会	テーマ:「ゼミ生の就業力アップのために教員は何ができるか? ~文系私立大学教員による企業就職希望3年生への支援の取り組み~」 講 師: 増田 勉氏(文教大学 人間科学部 准教授)	教員(49名)
2011年9月7日(水)	FD研修会	学生の成績評価の方法と学年暦について	教員(37名)
2011年9月8日(木)	人文学科FD研修会	人文入門演習の授業内容、学生生活入門、キャリアデザイン入門について	教員(26名)
2011年10月19日(水)	FDワーキング	定期試験に代わる成績評価のあり方について (GPAシステムの導入について)	ワーキンググループメンバー
2011年11月16日(水)	FD講演会	テーマ:「大学における発達障害学生への相談の現状と課題」 講 師: 藤井 茂樹氏(バームこどもクリニック顧問)	教員(42名)
2011年12月22日(水)	人間心理学科FDワーキング	実習科目への教育効果を高めるための方法について (「心理学マニュアル」の内容の見直しを含めた検討)	ワーキングチームメンバー
2012年1月17日(水)	人間心理学科FDワーキング	教育効果を高めるために「心理学マニュアル」改訂のための検討	ワーキングチームメンバー
2012年1月25日(水)	人間心理学科FDワーキング	教育効果を高めるために「心理学マニュアル」改訂のための検討	ワーキングチームメンバー
2012年2月24日(金)	人文学科FD勉強会	1年次入門演習科目に関する勉強会	教員(15名)
2012年3月13日(水)	FD講演会	テーマ:「キャンパス・セクシャル・ハラスメントの実態と防止」 講 師: 亀井 明子氏(スクール・セクシャル・ハラスメント 防止全国ネットワーク代表)	教員(43名)
2012年3月13日(水)	FD研修会	ハラスメントについての意見交換	教員(33名)
2012年3月14日(木)	FD研修会	大学院人間文化学研究所の3つのポリシー策定について	教員(24名)
2012年3月16日(金)	「心理学マニュアル」発行	700冊(人間心理学科全学生、教員ほか)	

■ 総合リハビリテーション学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年5月7日(土)	FD講演会	テーマ:「作業療法臨床実習をどう組み立てるか ~学生が臨床でいきいきと学ぶ環境を作るために」 講 師: 馬場 隆俊氏(幸生リハビリテーション病院) 小和田 博之氏(愛徳医療福祉センター) 岡庭 隆門氏(静岡県こころの医療センター)	教員(15名) 臨床実習指導者 (51名)
2011年5月30日(月) } 6月30日(水)	授業改善アンケートの公開	授業改善アンケートの自由記述欄の記述と、それに対する教員のコメントを公開した	
2011年6月1日(水)	FD研修会	教育・研究内容のプレゼンテーション 発表者: 松尾 雅文(理学療法学専攻 教授)	教員(46名)
2011年6月29日(水)	FD講演会	テーマ:「『社会福祉士』、『精神保健福祉士』合格にむけての環境づくり」 講 師: 岡田 章宏氏(社会福祉法人晋栄福祉会) 広沢 祐紀氏(医療法人明倫会)	教員(5名) 学生(40名)
2011年7月13日(水)	学生との懇談会	教育改善に向けての取り組みのために学生の要望・意見を聞く	教員(3名) 学生(10名)
2011年9月7日(水)	FD研修会	教育・研究内容のプレゼンテーション 発表者: 水上 然(社会リハビリテーション学科 講師)	教員(46名)
2011年10月14日(金)	FD講演会	テーマ:「理学療法における臨床思考とは何か ~学生の臨床能力の育成に向けて パート1:脳卒中片麻痺~」 講 師: 仲宗根 朝彦氏(医療法人友愛会 松本病院)	教員(5名) 学生(40名)
2011年10月21日(金)	FD講演会	テーマ:「理学療法における臨床思考とは何か ~学生の臨床能力の育成に向けて パート2:運動失調症~」 講 師: 仲宗根 朝彦氏(医療法人友愛会 松本病院)	教員(5名) 学生(40名)
2011年10月28日(金)	FD講演会	テーマ:「理学療法における臨床思考とは何か ~学生の臨床能力の育成に向けて パート3:骨折~」 講 師: 内海 新氏(医療法人伯鳳会 明石はくほうかい病院)	教員(5名) 学生(40名)

2011年度FD活動報告一覧

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年11月7日(月)	FD講演会	テーマ:「理学療法における臨床思考とは何か～学生の臨床能力の育成に向けて パート4:変形性関節症」 講師:内海 新氏(医療法人伯鳳会 明石はくほうかい病院)	教員(5名) 学生(40名)
2011年11月12日(土)	FD出張	テーマ:「グローバル人材育成のために大学教育に望むこと」 講師:徳永 保氏(国立教育政策研究所 所長) 高見 由香里氏(株式会社イトクロ 人材戦略部長(ほか)) 奥住 直明氏(株式会社東芝 産業政策渉外部長)	教員(1名)
2011年11月30日(水) ～ 12月26日(月)	授業改善アンケートの公開	授業改善アンケートの自由記述欄の記述と、それに対する教員のコメントを公開した	
2011年12月7日(水)	FD研修会	模擬授業とディスカッション 発表者:備酒 伸彦(理学療法学専攻 教授)	教員(41名)
2012年1月11日(水)	FD研修会	模擬授業とディスカッション 発表者:古田 恒輔(作業療法学専攻 教授)	教員(42名)
2012年2月1日(水)	FD研修会	模擬授業とディスカッション 発表者:藤井 博志(社会リハビリテーション学科 教授)	教員(42名)
2012年2月25日(土)	FD講演会	テーマ:「リハビリテーション医療におけるゴール設定～臨床指導者のための基本的考え方～」 講師:小泉 幸毅氏(小倉リハビリテーション病院)	教員(37名) 臨床実習指導者(66名)

■ 栄養学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年8月17日(水) ～ 8月19日(金)	FD出張	第6回日本臨床検査学教育学会 学術大会・研修会	教員(5名)
2011年10月19日(水)	学生(2年次生対象)との懇談会	わかりやすい授業を求めて(授業改善アンケートの結果から)	教員(7名) 学生(3名)
2011年10月25日(水)	学生(4年次生対象)との懇談会	わかりやすい授業を求めて(授業改善アンケートの結果から)	教員(7名) 学生(3名)
2012年3月26日(月)	FD出張	全国栄養士養成施設協会 特別研修会 テーマ:「応用栄養学の教育内容を考える - 応用栄養学の実習をどう進めるか-」	教員(1名)

■ 薬学部

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年4月25日(月)	FD委員会	テーマ:「Palliative Care Clerkship Provision for Pharmacy Students」 講師:MIHALYO Mary Grace (薬学部 客員教授(国外))	教員(15名)
2011年7月12日(水)	学生との懇談会	FD活動について 中間試験について	教員(1名) 学生(7名)
2011年8月31日(水) ～ 9月1日(木)	FD出張	初年次教育学会 テーマ:「初年次教育と協同教育をつなぐ:理論と実践」	教員(1名)
2011年10月9日(日) ～ 10月10日(月)	FD出張	第58回薬剤師養成のためのワークショップ in 近畿 テーマ:「薬学教育者ワークショップ」	教員(1名)
2011年10月24日(月)	FD委員会	テーマ:「Pharmacy Research Opportunities and Challenge」 講師:KATZ Michael D. (薬学部 教員教授(国外))	教員(15名)
2011年11月12日(土) ～ 11月13日(日)	FD出張	第59回薬剤師養成のためのワークショップ in 近畿 テーマ:「薬学教育者ワークショップ」	教員(1名)
2011年11月20日(日)	FD出張	第34回中堅薬剤師研修会 テーマ:「育てよう! 次代を担う薬剤師」	教員(1名)
2011年12月26日(月) ～ 12月28日(水)	FD出張	第1回薬学教育者のためのアドバンスドワークショップ テーマ:「学習成果基盤型教育に基づいて6年制薬学教育の学習成果を考える」	教員(1名)
2012年3月3日(土)	FD出張	第17回FDフォーラム テーマ:「大学におけるキャリア教育を考える」	教員(1名)

■ 実務法学研究科 (法科大学院)

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年5月23日(月) 5月28日(土)	学生による前期授業評価(中間)アンケート	第7～9回講義日に実施 実施科目数 35科目、回答率 89.7%	全教員、学生
2011年6月6日(月) ～ 6月18日(土)	前期授業参観	専任教員による前期授業科目の相互授業参観	全教員(全科目)

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年7月13日(水) 7月26日(水)	学生による前期授業評価(最終)アンケート	第15回講義日に実施 実施科目数 35科目、回答率 89.4%	全教員(全科目)、 学生
2011年7月27日(水) 8月8日(月)	学生による前期定期試験評価アンケート	前期定期試験に関するアンケート 実施科目数 35科目、回答率 69.4%	全教員(全科目)、 学生
2011年8月9日(火)	自己研鑽のための参考図書配付	「演出についての覚え書き 舞台上に生命を吹き込むために」 フランク・ハウザー、ラッセル・ライン著、フィルムアート社発行	教員(16名)
2011年8月23日(火)	教育方法研究会	成績評価について、学生の勉学指導等について、「前期授業評価アンケート」及び「前期定期試験アンケート」の結果を受けて今後の教育方法、授業改善について検討した	教員(13名) 職員(2名)
2011年10月25日(火)	学生との懇談会	学生生活の状況、学生からの要望、意見交換等	教員(9名) 学生(9名) 職員等(16名)
2011年11月7日(月) 11月12日(土)	学生による後期授業評価(中間)アンケート	第7～9回講義日に実施 実施科目数 30科目、回答率 85.7%	全教員(全科目)、 学生
2011年11月7日(月) 11月19日(土)	後期授業参観	専任教員による後期授業科目の相互授業参観	全教員(全科目)
2012年1月14日(土) 1月24日(火)	学生による後期授業評価(最終)アンケート	第15回講義日に実施 実施科目数 30科目、回答率 76.7%	全教員(全科目)、 学生
2012年1月25日(水) 2月1日(水)	学生による後期定期試験評価アンケート	後期定期試験に関するアンケート 実施科目数 30科目、回答率 58.0%	全教員(全科目)、 学生
2012年3月21日(水)	教育方法研究会	「後期授業参観報告書」、「後期授業評価アンケート」及び「後期定期試験評価アンケート」の結果を基に、授業改善の検討・分析等を行った。「新カリキュラム編成について」、「シラバスの内容について」検討した	教員(14名) 職員(2名)

■ 学際教育機構

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年10月12日(水)	防災ユニット講演会の取りまとめ	2009年度(4回)、2010年度(8回)の講演会の記録の文字化	
2012年2月1日(水)	第1回防災ユニット講演会	テーマ:「東日本大震災と西日本大震災」 講師: 牧 紀男氏(京都大学防災研究所 准教授)	教員(4名) 職員・一般(4名)

■ 共通教育機構

実施日時	活動名	内容(テーマ・講師等)	参加者
2011年4月1日(金)	第1回中国語授業研修会	本学の中国語教育の方針と現状、教育システムについての共通理解。統一授業についての目的、授業方法、評価基準についての周知等	教員(29名)
2011年4月4日(月)	文章表現担当者ミーティング	文章表現(少人数クラス)の教育方針・授業方法の共通理解および意見交換など	教員(9名)
2011年4月11日(月)	地域学講義担当者打ち合わせ会	地域学講義担当者による相互授業参観および授業方針・内容についての打ち合わせと意見交換	教員(7名)
2011年5月22日(日)	第2回中国語授業研修会	中国語教育の方針と教科書について	教員(5名)
2011年7月10日(日)	第3回中国語授業研修会	中国語教育の方針と教科書について	教員(5名)
2011年8月28日(日)	第4回中国語授業研修会	中国語教育の方針と教科書について	教員(4名)
2011年8月31日(水) 9月1日(木)	FD出張	初年次教育学会 テーマ:「初年次教育と協同教育をつなぐ:理論と実践」	教員(3名)
2011年9月14日(水)	第5回中国語授業研修会	中国語教育の方針と教科書について	教員(5名)
2011年10月9日(日)	FD出張	中国語検定フォーラム会員の集い テーマ:「中国語教育と中検の利用」	教員(1名)
2011年10月16日(日)	第6回中国語授業研修会	中国語教育の方針と教科書について	教員(5名)
2011年11月13日(日)	第7回中国語授業研修会	中国語教育の方針と教科書について	教員(5名)
2012年1月28日(土)	FD出張	関西大学 第6回FDフォーラム テーマ:「三者共同型アクティブラーニングの展開 最終成果報告会」 講師: 橋本 勝氏(富山大学 教授)、山田 礼子氏(同志社大学 教授)、溝上 慎一氏(京都大学 准教授)ほか	教員(2名)
2012年2月25日(土)	FD出張	シンポジウム:「ライティング支援のゆくえ ～レポート・卒業論文とその後～」 基調報告者: 實淵 洋次氏(関西大学文学部特別任用助教) パネリスト: 本田 尊識氏(金沢工業大学)、中嶋 義裕氏(大阪市立大学)、高橋 典子氏(大阪音楽大学)ほか	教員(1名)

◆ 教育開発センターからのお知らせ

<後期授業改善アンケートの実施について>

2011年度後期の授業改善アンケートを、2011年12月12日(月)から2012年1月23日(月)に実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

実施していただきました先生方には、4月上旬にアンケート結果集計表をレターケースに入れさせていただきます。

全体をまとめた報告書は、2012年7月にお配りする予定です。参考にしていただければ幸いです。

今回の実施状況は下記のとおりです。

学部	対象科目数	実施科目数	実施率(%)
法学部*	127	91	71.7
経済学部	116	91	78.4
経営学部	91	87	95.6
人文学部	122	114	93.4
人文学部(資格)	45	40	88.9
総合リハ学部	124	100	80.6
総合リハ学部(実習)	17	14	82.4
栄養学部*	59	42	71.2
栄養学部(実習)	23	19	82.6
薬学部	39	39	100.0
学際教育機構	45	32	71.1
共通教育機構	755	691	91.5
全体	1,559	1,356	87.0

※法学部・薬学部は、Campus上で実施した数字です。

<「大学生生活入門2012」について>

2011年度から全学部の新入生に対して実施していただいております「大学生生活入門」ですが、今年度も初年次教育の一貫として1年次の演習の時間などを使って実施していただきました。

使用していただいたテキストは、今年度は大幅に改訂し、法人・大学の歴史などを説明する章を設けました。それに

伴い、本学の歴史を知っていただくための補助教材としてDVDも作成いたしました。

また今年度も昨年度と同様に、各学部において薬物乱用防止の講演会を実施していただきました。学生の感想文などを見せてもらうと、高校の時にも同様に講演会があったようです。中学校で聞いた学生もおりました。しかし、規制薬物は年々その表情を変えて私たちの周りに迫ってきています。講演を聞いた学生たちも改めて規制薬物と関わらないようにしたいと思ってくれたようです。

4月に本学に入学し新たな生活を始めた学生たちにとって、自分の入学した大学について知ることができ、また学生生活の最初の道標になるようなものでありたいと願っております。

<FDセミナーを開催します>

FDセミナーを下記のとおり開催します。

演題：「学生が主体の授業実践」

—学生にクリティカルシンキングを促すには

講師：若山 昇氏（帝京大学法学部准教授）

日時：2012年7月26日(木) 13:00～14:30

場所：KAC：第42B会議室、KPC：第2中会議室

(遠隔システムを利用します)

若山先生が実践なさっている、学生を主体とした授業の中で、問題発見・問題解決の手法として、物事を先入観にとらわれず、論理的に考え、合理的な決定を導き出すことを繰り返すことにより、クリティカルシンキングの能力を養うようにしている授業実践をご紹介します。

これまでの授業の結果から、クリティカルシンキングは、思考のスキルとして訓練するよりも、問題解決過程を通して教授するほうが、クリティカルシンキングの志向性が高まる結果が出ているそうです。

みなさま、奮ってご参加ください！

編集後記

2009年4月に新設された教育開発センターも、4年目を迎えました。

この3年間は、新しいことに追われ走り回るような日々もありましたが、以前からずっと変わらず足元を固めていくような地道なFD活動も続けています。ずっと変わらずとは言っても、同じことを繰り返すのではなく、先生方の要望をお聞きし、それに応じた内容をご提供するよう心がけてきました。

これからも、本学の教育を支える部署でありたいと思っております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。